

# 新石川県立図書館基本構想

平成29年3月

石 川 県



# 目次

はじめに

第1章 公立図書館・都道府県立図書館・公文書館を取り巻く環境	1
1.1. 公立図書館・都道府県立図書館の動向	1
1.2. 公文書館の動向	1
1.3. これからの図書館	2
第2章 石川県立図書館の沿革と現状	3
2.1. 沿革	3
2.2. 施設・蔵書等の現状	4
2.3. 都道府県立図書館の統計	5
2.4. 特徴のある資料(貴重書等)	6
第3章 新県立図書館の基本コンセプト・新たな図書館像	7
3.1. 基本コンセプト	7
3.2. 新たな図書館像と基本方針	8
3.3. 新石川県立図書館基本構想検討委員会での主なご意見と基本コンセプト・新たな図書館像設定の関係	9
3.4. 基本方針の内容	10
3.5. 利用者視点での図書館での活動(アクティビティ)イメージ	11
3.6. アクティビティの個別例	12
第4章 主な機能の方向性	13
4.1. 基本コンセプトから主な機能の方向性までの全体像	13
4.2. 新たな図書館像1 「知的な活気と賑わいに溢れたアクティブな図書館」	14
4.2.1. 基本方針 1-1 「多様な知に会う場」	14
4.2.2. 基本方針 1-2 「文化活動・交流の『知と情報のひろば』」	16
4.3. 新たな図書館像2 「石川の豊かな文化・歴史の未来への懸け橋となる図書館」	17
4.3.1. 基本方針 2-1 「石川らしさの継承・創造・発信」	17
4.3.2. 基本方針 2-2 「石川に関する情報のワンストップサービス」	18
4.4. 新たな図書館像3 「県民のパートナーとして共に成長する図書館」	19
4.4.1. 基本方針 3-1 「県民の課題解決の支援サービス」	19
4.4.2. 基本方針 3-2 「県民の知的創造活動の支援サービス」	20
4.5. 新たな図書館像4 「知と文化の象徴としての図書館」	21

4.5.1. 基本方針 4-1 「魅力的な建築」 .....	21
4.5.2. 基本方針 4-2 「充実した図書・資料、人材、ネットワーク」 .....	22
第5章 施設計画 .....	24
5.1. 整備方針 .....	24
5.1.1. エリア構成・各エリアの考え方 .....	24
5.2. 収蔵能力 .....	26
5.2.1. 開架冊数の設定 .....	26
5.2.2. 書庫の収蔵能力の設定 .....	26
5.3. 施設規模等 .....	27
5.3.1 施設規模 .....	27
5.3.2 敷地利用 .....	28
5.4. 移転予定地（金沢大学工学部跡地）の状況 .....	29
5.4.1. 概要 .....	29
5.4.2. 周辺の状況・アクセス等 .....	30
第6章 整備スケジュール .....	31
参考資料 .....	32
新石川県立図書館基本構想検討委員会の設置と経過 .....	33
新石川県立図書館基本構想検討委員会 委員名簿 .....	34
新石川県立図書館基本構想検討委員会 設置要綱 .....	35
「建築から見た図書館」植松貞夫委員長説明資料 .....	36
「公立図書館の動向」田村俊作委員説明資料 .....	43
参考事例 .....	47
公文書館機能について .....	53
生涯学習機能について .....	56

## はじめに

石川県立図書館は、加賀藩所蔵の資料を一部引き継ぎ、明治 45 年に兼六園内で開館しました。爾来、100 年以上の長きにわたり、県民への図書館サービスと、県内市町村図書館の振興に努めてきました。現在の図書館は、昭和 41 年に金沢市本多町の社会教育会館内に社会教育センター（現在の生涯学習センター）と併設する形で設置され、その後、増築や生涯学習センターの移転等を経て、今の姿になっております。

現在の県立図書館は、建設から半世紀を超えて老朽化が進み、耐震基準を満たしていないとの診断結果が出たことに加えて、閲覧スペースが狭く、書庫が分散して設置されているなど、図書館としての機能が大きく制約されていること、さらには駐車スペースに制約があることなどの課題が顕在化していました。

このため、平成 28 年 3 月に策定した新たな石川県長期構想では、本県の中核図書館として機能の充実を図るため、十分な敷地面積が見込め、県内全域からのアクセスも良好な金沢大学工学部跡地に移転・建替することが明記されました。これを踏まえ、新館建設に向けて、新たな図書館整備の指針となる基本構想を策定することといたしました。

本県は、かつて「加賀は天下の書府」と言われた土地柄であり、加賀藩では、学問が奨励されていた歴史もあります。こうした石川の知的伝統を受け継ぎながら、今後、長きにわたって、多様な県民ニーズに応え、多くの県民の皆様方にご利用いただける図書館となることをめざして、基本構想の検討を開始いたしました。

検討にあたっては、図書館学を専門とする学識経験者や、県内の各界各層を代表する有識者の方々に構成される検討委員会を設け、4 回にわたり数多くのご意見をいただきました。また、県議会でのご議論や、県民の方々からのご意見もいただきながら、策定作業を進めてまいりました。

この基本構想では、新たな県立図書館の基本コンセプトを「県民の多様な文化活動・文化交流の場として、県民に開かれた『文化立県・石川』の新たな“知の殿堂”」としています。図書の貸出や閲覧機能だけではなく、公文書館機能・生涯学習機能を一体的に備え、また、石川が誇る多彩な伝統文化などの「石川ならではのコレクション」を収集・活用することとし、こうした機能・取組により、県民の文化的な活動・交流の舞台として、知的な活気と賑わいに溢れる図書館としていきます。また、建物については、時代を超えて評価される内外観や居心地がよく快適な空間にしたいと考えております。

本基本構想に基づき、新たな県立図書館は、知識情報面から「文化立県・石川」を支える「知の殿堂」にふさわしく、県内各地から幅広い県民の皆様方に来館していただき、時代を超えて親しまれ、評価される図書館となることをめざして整備を推進してまいります。